

重野邸の大仏様周辺の変遷についてです！（笑）

暑くなったり寒くなったり、気温の落差が激しい日々が続いておりますね。とはいえ、この時期ならではの心地よい風が吹くと、心も体も軽やかになるそんな日々が楽しくもあります。そして今年も気がつけば行楽シーズンに突入しておりました！全国各地の様々な名所では、多くの人で賑わっているかと思います。今回は私個人的な（！）賑わいスポットのひとつとして、弊社重野邸のとある大仏様と取り囲むお花についてご紹介いたします。

実は重野邸の駐車場には、顔だけの大仏様が見守るように置かれております。なお入手経緯の詳細は省きますが、違法ルートではありませんのでご安心ください（笑）！この大仏の本家は、大分県にある臼杵石仏の代表作、古園石仏の大日如来像です。本家の仏頭は約300年前に胴体から落ちており、これまで胴体の前に仏頭だけが置かれていました。この大仏様はそれを模したものだと思います。なお本家のほうは、平成6年に行われた大規模な保存修理工事により、無事胴体の上に復位され往時の姿に戻ったとのこと。（首が繋がったことから、リストラ除けのご利益として噂があったりなかったり・・・）



2016年4月撮影

当時はオレンジ色の花（スパラキシス・トリカラー）が大仏周りを取り囲んでおりました。

※元々は白い花だったのが、ご近所さんからオレンジの花をもらった所、白が消えあつという間に占拠したとのこと。



2025年4月撮影

オレンジだけでなく薄いピンクオレンジ？の花が半々の割合で取り囲むようになりました。

※消えたと思っていた白い花の命が、時を経て片鱗を見せ始めたのでしょうか・・・！
生命の力強さに感服してしまいました ✨

